



学校だより 逢う地

希望と目標を持ち、自立の基礎を身につけた生徒の育成

お・・思いやりのある学校
う・・美しさに満ちた学校
ち・・力を伸ばす学校

唐津市立相知中学校

R元. 12. 20. 第 20 号 文責：江川俊之

SDGs (持続可能な開発目標)



戦争、貧困、飢餓、格差…挙げればきりが無いほど、地球上には様々な問題が今なお存在します。2年連続の特別警報発令、私たちの身近にも環境異変が切実に感じられるようになりました。このままでは地球の将来を危ぶむ(持続不可能)声がかなり以前から発せられていました。

2015年国連で、SDGs(エス・ディー・ジーズ：持続可能な開発目標)について、193の国が合意しました。この合意により、貧困を終わらせ、すべての人が平等な機会を与えられ、地球環境を壊さずに、より良い生活を送ることができる社会を目指して、世界中が努力することが約束されました。誰も取り残さない世界を実現しようとするものです。2030年までに達成すべき17の最終目標とそれぞれに具体的な年限と行動目標が書かれた169のターゲット、その成果を測るための232の指標が示されました。

例えば目標1「あらゆる場所であらゆる形態の貧困に終止符を打つ」ターゲット1-1「2030年までに、現在1日1.25ドル未満で生活する人々と定義されている極度の貧困をあらゆる場所で終わらせる。」こういったものが17ゴール、169ターゲットあるわけです。

国家や自治体や企業、世界中で考えるべき難しい課題もあれば、学校や家庭でもできることもあります。例えば生徒会で取り組んだペットボトルキャップを集めて、途上国の子どもたちにワクチンを贈る運動等、すでに私たちが行っている活動もSDGsに向けた取り組みだったのです。



- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナーシップで目標を達成しよう



持続可能な社会のために ナマケモノにもできるアクション・ガイド

国連広報センターのweb上に標記興味ある資料が掲載されています。ごく一部を紹介します。

☆レベル1： ソファに寝たままできること

・電気を節約しよう。・印刷はできるだけしないで森林を守ろう。



☆レベル2： 家にもできること

・肉や魚を控えめに。肉の生産には植物よりも多くの資源が使われている。・生鮮品や残り物、食べ切れない時は早めに冷凍しよう。・堆肥を作ろう。・紙やプラスチック、ガラス、アルミをリサイクルすれば、埋立地を増やす必要がなくなる。・できるだけ簡易包装の品物を買おう！・エアコンの温度を、冬は低め、夏は高めに設定しよう！

☆レベル3： 家の外でできること

・買い物は地元で！ 地域の企業を支援すれば、雇用が守られるし、長距離トラックの運転も必要なくなる。・買い物にはマイバッグを持参しよう。レジ袋は断って、いつもマイバッグを持ち歩くようにしましょう。

☆レベル4： 職場でできること … 以下省略



もちろん校長室でも節電に努めています。また、今後学校での教育活動のすべてをSDGsの視点で見直し、一つ一つの活動の意義を再確認していきます。